

第308回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 9月23日(土) 10000m 9月24日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗 関口 大樹 田中 龍誠 坪井 響己 小野 修平

出場種目・出場者・リザルト

氏名	関口	田中	坪井	小野	親崎	坪井
種目	10000m	10000m	10000m	5000m	5000m	5000m
組	4組目	4組目	5組目	12組目	13組目	14組目
タイム	30'55"46	31'29"14	29'29"76	14'31"38 (入社後初レース)	14'27"75	14'18"19
順位	23/38	32/38	6/30	12/37	19/38	19/38

【レポート】

9月に入っても厳しい残暑が続きますが、11月3日に行われる東日本実業団対抗駅伝競走大会がいよいよ1ヶ月余りに迫り、各チームともに夏場の走り込みの成果とコンディションの確認のために、各地で行われるトラックレースやロードレースに意欲的に出場しております。

当社も秋のシーズン初戦のレースとして、日本体育大学長距離記録会に5名の選手が出場して参りました。

初日に行われた10000mには4組目に関口と田中が出場しました。2名ともレース序盤こそ集団の中でリズム良く走っていましたが、中盤から後半にかけて走りのリズムが乱れ、関口は30分55秒台、田中は31分29秒台のゴールとなり、目標としていたタイムとは乖離があり、駅伝に向けて課題の残る結果となりました。



中盤から苦しい走りとなった関口と田中

続く 5 組目には坪井が出場し、序盤から先頭集団に食らいつく積極的な走りを見せ、5000m を 14 分 31 秒台の好ラップで通過すると、後半は先頭集団から離れるもしっかりと粘り強く走り切り、29 分 29 秒台でゴールしました。



積極的に集団を引っ張る坪井

翌日には 5000m のレースが行われ、親崎、坪井、小野の 3 名が出場しました。まず 12 組目には入社後の初レースとなる小野が出場し、新人らしい積極的なレースで序盤から集団の前方でレースを進めると、3000m 以降苦しみながらも切れ味の鋭いスパートをみせ 14 分 31 秒台でゴールしました。春のシーズンは貧血と体調不良でレースから遠ざかっていましたが、復調の兆しを見せるレースとなりました。



入社後、初レースで勢いのある走りをする小野

続く 13 組目には親崎が出場し、シーズン前半から夏場にかけて体調不良等でなかなか本来の走りが出ていない状態が続いていましたが、ハイペースで進む集団にしっかりと食らいつき、最後まで軽快なピッチは衰えず、シーズンベストとなる 14 分 27 秒台でのゴールとなりました。



復調を印象づける親崎のラストスパート

14 組目には前日のレースから連戦となる坪井が出場しましたが、10000m の疲れも見せない軽快な走りで 3000m を 8 分 32 秒台で通過し、入社後ベスト(14 分 13 秒)の更新も期待されたものの、ラスト 1 周の切り替えが不発に終わり、14 分 18 秒台のシーズンベストでのゴールとなりました。



10000m の疲れも見せず、積極的な走りを見せる坪井

【総 評】

11月3日の東日本実業団対抗駅伝競走大会に向け、現状のコンディションを確認出来る絶好の機会でしたが、5000mでは小野が入社後初レースで目標通りの走りを見せてくれたことと、不調が続いていた親崎の復調の走りは大きなプラス材料でした。

反面、チームの中核を担う関口と田中の走りは、まだまだ課題が多く、ここから1ヶ月でどれだけコンディションを向上できるかが、駅伝の結果に大きく跳ね返ってくると感じます。

昨年度、総合20位という結果となり、チーム一同が悔しい想いをしましたが、皆さまに成長した姿をお見せ出来るよう、大会当日まで更なるコンディションの向上に努めて参ります。

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上